

奥

MA

YUMI



June
2024 6

PUBLIC INFORMATION PAPER OF UMEGAOKA

医療法人圭愛会 日立梅ヶ丘病院
No. 95

永年勤続表彰

20年を振り返って

グループホームことぶき 柴田 香織

この度は、永年勤続表彰をいただきありがとうございました。皆様のご指導や支えがあり、ここまで続けることができました。20年前を振り返ると、私は介護の専門学校を出たわけでもなく、高齢者や介護に関りを持ったこともなく、右も左もわからないまま「ことぶき」で働かせていただくこととなりました。入居者さんとのコミュニケーションの難しさを実感し、不安な毎日を送りました。特に戸惑ったのは食事の準備で、私は料理をほとんど作ったことがなかったので、10人分を任されることはとてもハードルの高いものでした。しかし、入居者さんの「美味しいね、また作ってね」の言葉で嬉しい気持ちになり頑張って作っております。先輩方のやり方を見て、聞いて、そして温かくご指導いただける、和やかな環境の中で多くのことを学ぶことに感謝しています。

私にとって「ことぶき」は、介護しながらも落ち着ける場所となり、皆さんの笑顔に救われています。これからも頑張っていきたいので、よろしくお願いいたします。



10年を振り返って

看護部 A棟 孤爪 靖子

入職してからの10年間は、自身を取り巻く環境が激変した期間であったと言えます。看護助手として入職し、4年間の養成期間を経て看護師として多くの臨床経験ができたと振り返ります。未経験の私を病院及び看護部で受け入れて頂き、諸先輩方に育てて頂いたことに感謝しています。

私には看護師として大切にしている言葉があります。それは「内省と自己洞察」「置かれた場所で懸命に花を咲かせなさい」です。これは看護師免許取得時に受け取った言葉であり、私は内省を繰り返し、懸命に花を咲かせることを目標に日々を過ごしていました。この頃は自身の花を咲かせるという視点で考えていましたが、その後の経験から誰かの花を咲かせることなのかもしれないと考えるようにもなりました。

当院ホームページには「地域に根ざした医療を通じ、皆様が笑顔になるためのお手伝いをします」と掲載されています。この言葉から、私が咲かせる花は自分の花ではなく「皆さんの笑顔の花」であったのだと改めて考えるようになりました。今後は患者さんや周囲の皆さんの笑顔の花が咲くように微力ながら邁進していきたいと考えています。



令和6年度 永年勤続表彰者

20年	ことぶき	柴田 香織
10年	ことぶき	高橋 靖
	A棟	孤爪 靖子
	A棟	篠原 玲央那
	A棟	滑川 和希
	A棟	伊東 みどり
	薬局	小田部 江里



～学んできました～

医療福祉相談室 佐藤 正啓

救護施設・鹿島更生園を見学して

令和5年8月24日、相談員4名（菊池・皆川・塙・佐藤）で、救護施設・鹿島更生園を見学して参りました。

救護施設とは、身体・知的・精神の障害や依存症などの生きづらさを抱えて、経済的な問題も含め、日常生活を営むことが困難な状態の要保護者が入所する施設です。（生活保護法に基づく保護施設の一つで、設置主体は都道府県、市区町村、地方独立行政法人、社会福祉法人、日本赤十字社に限られています。）

入所者さんの中には、当院を退院された患者さんも何人かいらっしゃいます。お話を伺うと、『地元から離れて寂しい、自宅に帰りたくなる時もある』と話すものの、施設内を散歩したり、配膳の手伝いを行うなどのんびりと生活を送っていました。施設は昭和62年建造とやや古いですが、職員さんと入所者さんの和気あいあいとした雰囲気が印象的でした。担当者さんによると、最近は入所者の高齢化・入浴介助が必要な方もおり、職員の負担が増えているそうです。障がい者を取り巻く環境の厳しさが理解できました。

令和5年度 鹿行精神・医療・福祉ネットワーク機構研修会に参加して

同日、鹿嶋市勤労文化会館にて『いろんな生き方があっていいんじゃない』（鹿島病院・鹿嶋市・行方市・潮来保健所主催）に参加しました。講師はマンガ家で元看護師の沖田×華（おきたばっか）さん（代表作に『毎日やらかしてます』『ニトロちゃん』など）。自身も発達障害者とのことです。講演では、他人に視線を合わせられず誤解を招く、過去の嫌なこと・痛みなどが瞬間に全てよみがえるなど、看護師時代に苦労した話や、マンガが売れたことで多忙を極め、実際に自殺を思い立ったがツイッターのフォロワー・夫・編集担当に支えられたこと、クリニック通院で服薬し『今生きているだけでいい』と思えたことを話されました。

講演は、イラストを交えての説明で、参加した方が共感できるようなわかりやすい内容でした。講演後の質問は、実際に発達障害当事者で仕事（自営）の予定を立てることに苦労しているとの話を伺い、障害と向き合いながら懸命に生活している現状が理解できました。

茨城県では、こころのSNS相談@いばらき（相談方法はLINE）を開設し、最近注目されるゲートキーパー養成講座も行っています（地域連携部・富田副部長も講師を務めています）。これを機に調べてみるのも良いと思います。

今回は、鹿嶋市と遠方で普段と違う体験ができ、有意義な出張でした。空いた時間に近くの鹿島神宮を参拝し、病院スタッフの無病息災をお祈りしてきました。



看護職員・看護補助者の接遇向上を目指しての取り組み（報告）

～接遇に関する行動目標 他者評価 3 年間の推移分析～

1. はじめに

看護部長 川崎 弘道

看護職員・看護補助者の接遇は、医療の質と同様に患者満足度を左右する大きな要素である。その点を踏まえて、看護はサービス業であることを個々の看護職員・看護補助者が自覚し、多くの患者・家族に少しでも質の高い医療と看護を提供することが求められている。

看護部は、患者・家族に安心して精神科における治療・看護を託して頂ける日立梅ヶ丘病院づくりを目指し、看護職員・看護補助者一人ひとりの接遇向上を図る取り組みを令和3年度～5年度の3年間実施した。

ここに、「令和5年度後期（3月）の看護職員・看護補助者126名の接遇に関する行動目標に対する他者評価」の分析結果を、令和3年度取り組み開始時（4月）・令和4年度後期（3月）の推移から分析し、3年間の成果と今後の取り組みに関する課題について多くの示唆が得られたので報告する。

2. 実施期間 令和3年4月1日～令和6年3月31日（3年間）

3. 対象 令和3年4月 119名（看護職員：81名 看護補助者38名）

令和5年3月 121名（看護職員：75名 看護補助者46名）

令和6年3月 126名（看護職員：83名 看護補助者43名）

4. 評価の基準 4段階評価（絶対評価）とする。

4：できている 3：概ねできている 2：ややできていない 1：全くできていない

5. 結果と考察

【Ⅰ. 看護職員・看護補助者は、常に患者・家族の立場を考え、安心感・信頼感を持って頂ける対応ができる。】

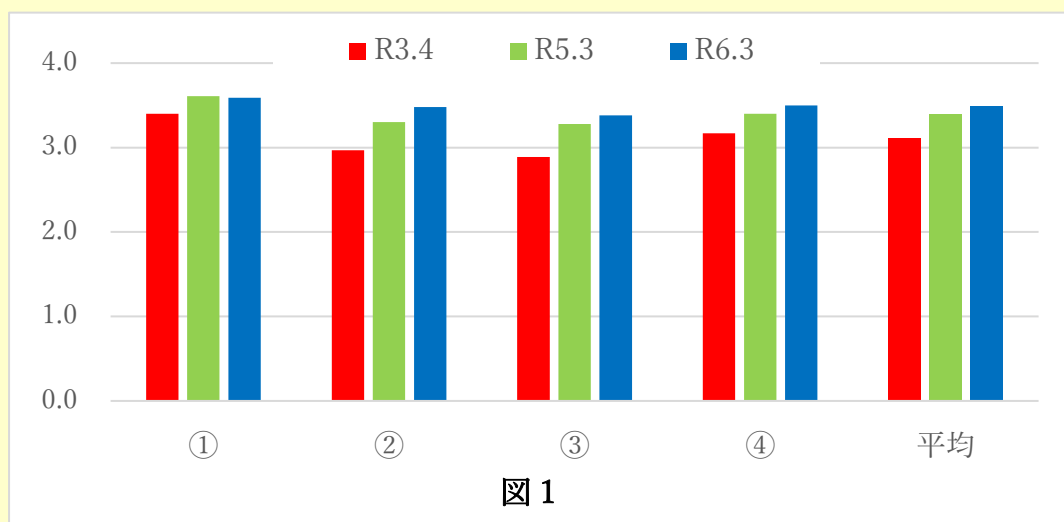
①「挨拶・言葉遣い・身だしなみを整え、看護職員・看護補助者一人ひとりが意識して患者・家族へ対応ができる。」は、R3年4月は平均値3.40であったが、R5年3月3.61・R6年3月3.59と高率化し向上した。

②「患者・家族と積極的にコミュニケーションを図り、思いを傾聴し、ニーズを引き出す対応ができる。」は、R3年4月は平均値2.97と低率であったが、R5年3月3.30・R6年3月3.48と高率化し向上した。

③「患者・家族が納得できる説明と同意が得られたかの確認（インフォームド・コンセント）ができる。」は、R3年4月は平均値2.89と低率であったが、R5年3月3.28・R6年3月3.38と高率化し向上した。

④「看護職員・看護補助者としての自覚をもち、看護者の倫理綱領に基づいての行動ができる。」は、R3年4月は平均値3.17と低率であったが、R5年3月3.40・R6年3月3.50と徐々に高率化し向上した。部署別に実践された「倫理的課題カンファレンス」における学びの成果と考える。

◆①～④の3年間の推移は、図1のとおりである。安心感・信頼関係を持って頂ける患者・家族への対応ができるように向上した。

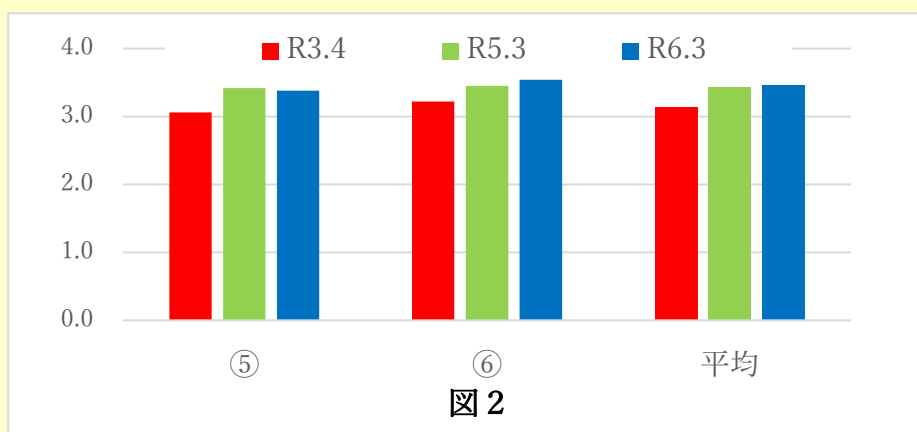


【Ⅱ. 看護職員・看護補助者は、コミュニケーション能力（伝える能力・受け取る能力・非言語的コミュニケーション能力）を身につけ、思いやりをもち協力して円滑に働ける職場環境づくりを心がける。】

⑤「相手の気持ちや考えを尊重し、自分の気持ちや考えを相手に伝えること（アサーティブ・コミュニケーション）ができる。」は、R3 年 4 月は平均値 3.06 と低率であったが、R5 年 3 月 3.42 と向上した。しかし、R6 年 3 月の評価は、3.38 と若干低率化した。そのため、更なるアサーティブ・コミュニケーションの向上を目指し取り組むことが必要である。

⑥「医療従事者とのコミュニケーションを通して、情報共有を行い、連携することができる。」は、R3 年 4 月は平均値 3.22 であったが、R5 年 3 月 3.45・R6 年 3 月 3.54 と向上した。全職員が、当たり前の挨拶を自ら実践し、情報共有・連携の重要性について理解し行動していることが示唆された。

◆⑤～⑥の 3 年間の推移は図 2 のとおりである。医療人としてのコミュニケーション能力を身につけ、思いやりを持ち協力して円滑に働ける職場環境づくりを心がけていることが明確である。

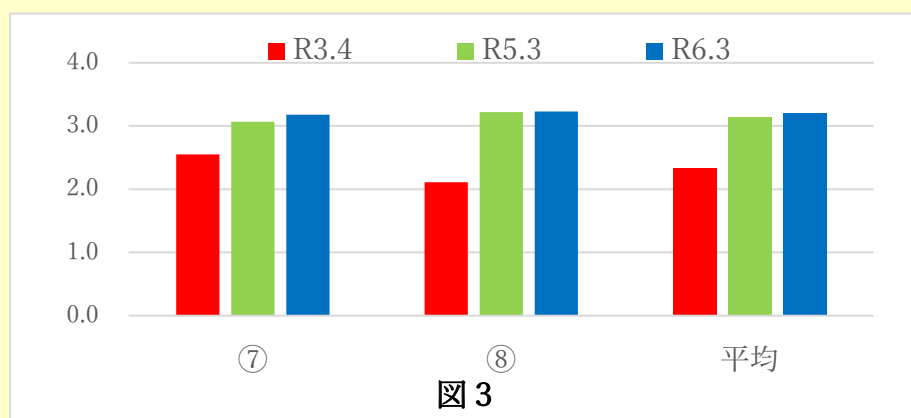


【Ⅲ. 看護職員・看護補助者は、常に向上心を持ち看護実践に向き合うことができるよう研鑽する。】

⑦「精神科看護に対する意識（マインド）を向上させる行動ができる」は、R3 年 4 月は平均値 2.55 と低率であったが、R5 年 3 月 3.07・R6 年 3 月 3.18 と徐々に高率化した。自己の目標に向かっての行動・実践した看護を振り返り、カンファレンスで自己の考えを伝えることができるように向上していると考ええる。

⑧「主体的に研修会に参加し学びを深めることができる」は、R3 年 4 月は平均値 2.11 と低率であったが、R5 年 3 月 3.22・R6 年 3 月 3.23 と著名に高率化した。研修会の目的を理解し参加することで、学びを看護業務に活かすことができるように変容しつつあることが明確である。

◆⑦～⑧の 3 年間の推移は図 3 のとおりである。看護職員・看護補助者が、常に向上心を持ち看護実践に向き合うことができるよう研鑽することの意義を理解し、精神に障がいを持っている患者・家族へのより良い対応ができるよう取り組んでいることが明確になった。



6. おわりに

接遇行動に対する 3 年間の他者評価の推移分析から、4 評価が著名に高率化していることが明確になった。今後も継続して、①日々の実践した看護を振り返り自己の課題解決に向けて行動をする。②カンファレンスで自分の考えを伝える。③精神科看護について学びを深める研鑽を継続することが患者満足度に繋がると考える。

看護部は、令和 6 年度も更なる接遇向上を目指し継続的に取り組んでいく。



私の看護観



【新人看護職員継続教育:レベルⅢ修了者】

私は、看護実践において、患者が最期まで自分らしい生き方ができるように寄り添える支援者でありたいと思います。看取りを必要とする患者もいる中で「自分のもてる医学・看護の知識や看護技術で提供できることは何か」について、常に考えています。

私の受け持ち患者は、精神症状が安定しない状況のため家族との関係が疎遠となり、入院してから家族の面会ができないまま徐々に衰退し終末期に入りました。そこで、受け持ち看護師として患者へ安楽な看護介入をすることは必須ですが、同時に家族に対しても適時に介入することが求められていると思いました。受け持ち患者は認知機能の低下はありましたが、家族の存在はしっかりと覚えていました。受け持ち看護師として、家族が面会できるよう担当医等と調整した結果、入院後初めて患者と家族が面会をすることができました。その後、間もなく患者の状態が急変したことから、もう少し早い段階に家族と信頼関係を構築することができていれば、患者の苦痛を最小限にできる関わりに繋がり、受け持ち患者らしい生き方ができたのではないかと後悔しました。しかし、私が受け持ち患者の最期を看取った際に、家族から「最期に会うことができて嬉しく思いました。入院したのが日立梅ヶ丘病院で良かった。」と言って頂けたことで気持ちが少しだけ楽になりました。

今回の看護実践の学びを活かし、個々の患者や家族と真剣に向き合い、その方に合った看護を提供できる看護師を目指して、日々研鑽していきたいと思っています。

【新人看護職員継続教育:レベルⅢ修了者】

私は、患者の思いに耳を傾け、ニーズに寄り添える看護師でありたいと考えます。更に、患者と家族が望んでいる看護を提供していくためには、保健医療福祉チームと情報を共有し、密に連携を図ることが重要と考えています。

患者の退院後の生活に関するカンファレンスの場において、患者と家族の思いは必ず一致するものではありません。退院後の生活は、患者の意向ではなく、家族の意向で調整がされることが多いのが現状です。患者は、精神症状に左右されることもあるなかで、社会復帰に向けて苦悩し自分の思い描いた生活を送るために努力をしていることに気づかされます。家族の苦労や心情を考えると患者の希望通りにすることは難しいと思いますが、看護師は患者が退院後自己実現に向けて歩むことができる援助をすることが必要だと考えます。退院した患者から「入院中はお世話になりました。今はなんとか頑張っています。」と声をかけられた時は嬉しく思いました。

今後も患者と家族に寄り添える看護師になれるよう、努力していきたいと思っています。

ふるさと自慢

私のふるさと福井



看護部 E 棟 山田 涼子

私の故郷福井県は、令和 6 年 3 月 16 日に「北陸新幹線」金沢-敦賀間が開業し話題になりました。福井駅にも新幹線が停車するようになり、東京-福井間が 3 時間 4 分と大変便利になりました。福井の名所といえば、東尋坊や永平寺が有名ですが、今回 2 つのお勧めスポットを紹介します。

1 つ目は、福井県立恐竜博物館です。福井県立恐竜博物館は化石研究体験プログラムの新設、恐竜の塔、見える収蔵庫、3 面ダイノシアターなど他にも見どころがいっぱいです。

2 つ目は、福井駅です。福井駅西口前広場は、恐竜広場ともいわれ、恐竜の動くモニュメントが設置されています。福井で生息していたフクイラプトル、フクイサウルス、フクイティタンの 3 体が実物大で動き、当時の生態を再現した演出を 3 分間実演しています。駅西口の壁面には、横約 45m、縦約 10m の巨大なイラストをラッピングしています。恐竜イラストには白亜紀前期の福井で生息していた 10 種類の生物を描いています。恐竜モニュメントと合わせ、記念撮影スポットとしてお勧めです。また、駅の壁面に 2 種類の恐竜のトリックアートが描いてあります。

皆さん、ぜひ福井へ足をお運びください。



むしゃんよか熊本



作業療法室 神崎 香帆

私の故郷は九州の熊本県です。九州の中央に位置し、有明海に接します。また熊本市は水道水が全て地下水で賄われている世界でも稀有な都市です。

熊本といえば『熊本城』『阿蘇山』『馬刺し』『すいか』が有名ですが、今回は私が厳選した熊本のオススメを 2 つご紹介していきます。

まず 1 つ目は『太平燕：たいぴーえん』。皆さん知ってますか？魚介類や野菜などの具材と春雨が入った具沢山の中華風スープで、熊本県の郷土料理です。熊本では、ほとんどの中国料理店でメニューに太平燕があるほど定番となっており、さらに熊本市内では学校の給食でも出てくるほど親しまれています。

2 つ目は、私の推し『くまモン』です。九州新幹線全線開業をきっかけに誕生したゆるキャラ。そんな彼に一度は会って癒されたい方はいいいらっしゃいますか？実は熊本県民はみんな知る、くまモンに毎日会えてなおかつ元気の出るパワースポット、その名も「くまモンスクエア」という場所があります。私も昨年まで何回か利用してストレス解消をしていました。

皆さんも熊本に行った際は、ぜひ癒されグルメ旅に出かけてみてください。

神崎さんが隠れています
探してみてください！





オレンジカフェ「脳いきいきデイケア」

認知症疾患医療センター×脳いきいきデイケア



認知症疾患医療センター 西 亜紀子

認知症疾患医療センターは、茨城県から委託を受けて平成 24 年から活動しています。令和 3 年度から「認知症の予防啓発」「診断後支援」の強化が認知症疾患医療センターの重要な役割として位置づけられ、その活動の一環として年間 4～5 回の「オレンジカフェ『脳いきいき』」を実施しております。

当院で行うオレンジカフェは、脳いきいきデイケアのスタッフと協同開催していることが特徴で、高い専門性とオリジナリティを発揮し、趣向を凝らしたプログラム内容で大変好評をいただいています。参加者の皆さんから、「毎回次の開催を楽しみにしている」との感想をいただき、一度体験された方が、お友達を誘って参加されることも増えてきています。

今後も楽しみながら脳を活性化させるプログラムを参加者に提供することで、「認知症はライフステージのひとつであり、地域で支え合い声を掛け合いながら予防する」という互助共助の形を創っていく過程に貢献できることを願って、継続して活動していきたいと思ひます。



ウッドビーズを使って
ストラップを作っている
様子です。



計算問題や間違い探し等で
脳のトレーニングを
しています。



椅子に座ってできる
ヨガをしている様子です。



IT 委員会
広報紙部会

川崎弘道 富田加代子 佐藤正啓 佐藤理緒
鈴木啓之 小野目智広 大場史織 飛田英明 吉田彩

所在地 : 〒316-0012

茨城県日立市大久保町 2409-3

TEL : 0294-34-2103

FAX : 0294-33-1800

URL : <https://umegaoka.or.jp>

E-mail : info@umegaoka.or.jp



編集後記と表紙解説

今年度から女性看護師のユニフォームを新しいデザインに変更したので、今回の広報紙の表紙にしてみました！今後は、男性看護師も新しいデザインになる予定です。

新たなユニフォームがスタッフの働くモチベーションアップになることを期待しています。 事務部 小野目 智広

